

第一回3次元ビデオプロジェクト研究会議事要旨

日 時： 2004年7月15日(木)13:30~15:15

場 所： 電気総合館中会議室

出席者： 松山、八村、和田、浮田、牧、川嶋、高井、延原、ウ、滝沢、多久

1. メンバー自己紹介と役割分担の確認

参加者の自己紹介の後、松山リーダーより役割分担の案が示され、議論の結果、当面の役割分担が以下の様に決められた。

松山： 全体の統括、複数人物のズームアップ協調追跡

八村： 3次元映像の編集・表示

和田： 1. 対象シルエットの自動抽出

2. 首振りカメラのオンラインキャリブレーション

牧： 幹事、照明変化に強い特徴抽出、単眼カメラによる3次元運動計測

浮田： 複数人物・部位のズームアップ協調追跡による同期多視点ビデオのリアルタイム撮影

波部： 1. skin-offによる3次元ビデオの符号化

2. ドームディスプレイによる高精細映像表示

ポスドク：(募集中)

1. 首振りカメラのオンラインキャリブレーション

2. PCクラスタシステム

3. 複数人物・部位のズームアップ協調追跡による同期多視点ビデオのリアルタイム撮影

滝沢： PCクラスタシステム、カメラシステムの基本ソフトの開発、撮影作業およびライブラリ化、ドキュメンテーション

ウ： PCクラスタを用いた並列視体積交差法

高井： 光環境センシング、高精度レンダリング、立体映像表示

延原： 弾性メッシュモデルによる高精度な動的3次元形状復元

曾良(M2)： skin-offによる3次元ビデオの符号化

大浜(M1)： 対象シルエットの自動抽出？

松村(B4)： 首振りカメラのオンラインキャリブレーション

多久： 事務、連絡調整

プログラマ・HP担当者：(教務補佐員の雇用を予定)

2. 他組織との協力関係について

富士通： 1. 新規PCクラスタシステム
2. ソフトウェアのツール化・ライブラリ化・ドキュメンテーション

3Dコンソーシアム：

1. 立体ディスプレイのための魅力的コンテンツの作成
2. 多様なディスプレイ用共通データフォーマットの開発
(IPAプロジェクトへの提案?)

京都府・京都市：

1. 観光事業の促進、文化の紹介、教育コンテンツ開発
2. 無形文化財撮影のための調整

3. 今後の研究会予定

- ・毎月1回午後半日程度、進捗状況の報告と研究討論を行う。
- ・池内グループとの研究推進委員会は3、4か月に1回程度、合同研究会を行う。

4. 経理関係の連絡事項

業務計画書に基づく全体的な予算説明

- ・初年度京都大学分75,900千円。来年度以降約40,000千円程度の予定。
- ・経理は全て京大で行い、他大学の先生方は消耗品、旅費、その他としてお使い頂く。経費使用のリクエストは多久までメールすること。
- ・人件費については、雇用は京都大学となること及び人件費の決算時増額が認められないことなどから、調整が必要。

5. 次回研究会予定

8月30日(月)13時30分から行う。

その後変更となり、8月31日(火)15時から行うこととなった。

以上